

スポーツ振興について(2)

次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実について

1. 目標

すべての子どもが、将来自ら進んで楽しみながらスポーツに取り組めるよう、学校において子どもの運動・スポーツ活動を充実し、基礎を培う取組を推進する。

- (1) 幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の充実
- (2) 体育・保健体育の授業の充実
- (3) 運動部活動の活性化

2. 主な取組

(1) 幼児期の運動遊び促進事業

幼児の運動能力等調査により実態を把握し、幼児期運動指針に基づいた運動遊びを推進する。また、指導者研修会の実施や実践事例集による運動遊びの促進を図る。

(2) 子どもの体力向上推進事業

令和元年の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果、全国的に体力が低下化傾向の中、本県の児童・生徒の体力低下が明らかになった。

児童・生徒の運動やスポーツに対する愛好的態度を育て、興味関心を持って進んで取り組めるよう、小・中・高等学校の体育・保健体育科の授業の充実・校種間の連携を図り、教員の資質、指導力向上や日常の運動機会の充実を図る。

① 教員の資質向上・指導力強化

授業協力者派遣、実技研修会、授業研究等

② オリンピック・パラリンピック教育の推進

アスリート招聘、特別支援学校運動機会充実促進、チャレンジランキング

〈新型コロナウイルスの影響等〉

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査だけでなく、県の新体力テストについても中止することとなり、児童・生徒の体力把握が難しい状況にある。

・運動習慣等に関する調査については、県独自で実施し、影響の把握に努める。

・他者との関わりや学習内容に制限があり、教育課程の編成の見直しが必要となる。

・県総合教育センターから閲覧できる幼小中教育課の「こどもの『学びの場』」サイトに動画を掲載し家庭学習をフォローした。今後は、本課独自の動画掲載を継続して体力向上をサポートする。

(3) 健やか元気アップ事業

発達段階に応じて、児童生徒が運動やスポーツの楽しさを味わい、自らの実践力を高めたいけるよう、教員の指導力の向上を図る。

体育の出前講座（小学校）、運動と保健を関連づけた運動教室（小学校）、保健体育科の授業モデル研究（中学校）を実施

〈新型コロナウイルスの影響等〉

学校休業の影響により、教育課程の編成等の工夫をしており、開催日程の調整が必要となっている。

(4) 部活動指導員配置促進事業

専門的な指導による生徒の意欲や技能の向上を図るとともに、部活動指導における教員の働き方改革を推進するため、公立中学校・高等学校における部活動指導員の配置を進めている。今年度は、部活動のあり方検討を進めるとともに、人材バンクの立ち上げを目標としている。（運動部 中学校：54名、高等学校：26名（うち、強化拠点校(部活)に6名)の配置)

〈新型コロナウイルスの影響等〉

学校休業の影響により、約3か月のブランクがあり、まずはしっかりと体づくりから始め、感染防止対策を講じながら、段階的に部活動を再開している。

従来から、研修会等で取り上げ推進している、スポーツ医・科学やスポーツ心理学等に基づいた効率的・効果的なトレーニングについて、さらに研究が必要になっている。

また、身体接触の多い競技については、中央競技団体等の「再開のガイドライン」等を参考に練習内容の変更や工夫が必要となるなど、今までにない対応が求められており、部活動運用上の課題を共有し、必要な対策について検討していく。

(5) 中体連・高体連活動振興事業

中学校体育連盟が、春季総体、夏季総体、秋季総体を開催し、高等学校体育連盟が、春季総体、秋季総体を開催する。また、近畿・全国大会へ選手を派遣する。

〈新型コロナウイルスの影響等〉

・中止となった大会

・中学校体育連盟：春季総体、夏季総体、

・高等学校体育連盟：春季総体、近畿・全国大会（インターハイ）

各競技団体、高体連各競技専門部等において、目標としていた大会がなくなった生徒に対し、これまで積み上げてきた成果を発揮、披露する場として、記憶に残る代替大会の開催を検討しており、県としても支援策を検討している。

(6) 全国中学校駅伝大会開催事業

平成28年度から令和2年度まで5年間、希望が丘文化公園において全国中学校駅伝大会を開催する。

令和3年度以降について、開催の方向で関係者間において調整中である。

〈新型コロナウイルスの影響等〉

今年度の開催については、8月中に日本中学校体育連盟において決定される予定。

3. 2024 国民スポーツ大会に向けた取組

(1) 優秀な生徒の県外流出抑止

文化・スポーツ部（競技力向上対策室）のターゲットエイジに対する事業実施に協力し、中学校、高等学校の現場の声を聞き取って対応可能な対策を検討し、共有する。

(2) 拠点校の施設整備

競技力向上に向けた強化拠点校施設について、文化・スポーツ部と協議しながら、必要な修繕・対策を検討する。

〈新型コロナウイルスの影響等〉

スポーツ推薦、特にスポーツ・文化芸術推薦選抜（スポ文推薦）において、推薦要件になっている県、近畿、全国大会などの主要大会が中止となったため、選抜における判定基準について検討する必要がある。